

「温度・振動」から機械の稼働状態を把握『機械の予知保全・管理』

■課題

日本の製造業界は、労働力人口の人材不足や低水準の労働生産性といった課題に加え、グローバル市場の競争激化といった問題を抱えています。この状況下において必要となるのが、製造業界における“改善”であるが、従来の人手作業により手法では有効的な効果が見込めません。

■概要・期待効果

工場に工作機械の後付けで各種センサーを設置すれば、稼働状況が画面に集約されリアルタイムに一元管理できます。もし機械に異常や故障が発生したら、すぐにアラートが出るため、すばやいメンテナンス対応が可能です。

また、センサーデータの蓄積により稼働停止時間が防げます。さらに、予防保全によっては部品交換やオーバーホールに費やすムダなコスト抑制にもつながります。

